

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 3 月 15 日(2022.3.15)

【公開番号】特開 2021-24950(P2021-24950A)

【公開日】令和 3 年 2 月 22 日(2021.2.22)

【年通号数】公開・登録公報 2021-009

【出願番号】特願 2019-143869(P2019-143869)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/20(2018.01)

10

C 0 9 J 7/38(2018.01)

C 0 9 J 133/02(2006.01)

C 0 9 J 133/04(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/20

C 0 9 J 7/38

C 0 9 J 133/02

C 0 9 J 133/04

20

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/30 A

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 3 月 7 日(2022.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材と、該基材の少なくとも片側に配置された粘着剤層とを備える粘着シートであって、
23 の環境下において、張力をかけて該粘着シートを 150% 伸長させた状態で 5 分間
保持し、張力を開放した際の寸法復元率が、伸長前の該粘着シートを基準として 80% 以
上である、

粘着シート。

【請求項 2】

前記基材が、脂肪酸アミドを含む、請求項 1 に記載の粘着シート。

【請求項 3】

前記脂肪酸アミドの含有割合が、前記基材 100 重量部に対して、0.001 重量部～1
0 重量部である、請求項 2 に記載の粘着シート。

40

【請求項 4】

前記粘着剤層が、アクリル系粘着剤を含む、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の粘着シ
ート。

【請求項 5】

前記アクリル系粘着剤が、極性官能基を有するモノマー由来の構成単位を含むアクリル系
ポリマーを含む、請求項 4 に記載の粘着シート。

【請求項 6】

前記極性官能基を有するモノマーの含有割合が、前記アクリル系ポリマー 100 重量部に

50

対して、0.01重量部～40重量部である、請求項5に記載の粘着シート。

【請求項7】

前記極性官能基を有するモノマーが、(メタ)アクリル酸である、請求項5に記載の粘着シート。

【請求項8】

前記(メタ)アクリル酸の含有割合が、前記(メタ)アクリル系ポリマー100重量部に対して、1重量部～20重量部である、請求項7に記載の粘着シート。

10

20

30

40

50